

分野連携企画報告書

行事（企画）名 モデルロケット教室
（年次大会および関東地区開催）

行事URL https://www.jsme.or.jp/tsd/kouen/2024_model_rocket.pdf

1.開催日・会場

関東地区：2024年 8月4日（日）

（製作・打上会場）千葉工業大学 新習志野キャンパス

年次大会：2024年 9月8日（日）

（製作会場）愛媛大学 城北キャンパス，（打上会場）松山市立東雲小学校

3.企画内容

小学校5年生～6年生を対象としたモデルロケットの製作・打上げ教室。

（参加実績 関東地区：小学生43名，保護者43名，年次大会：小学生8名，保護者8名）

教室概要

ロケットのお話（ロケットの歴史・仕組み・構造），モデルロケット製作・打上げ体験，SUWA小型ロケットプロジェクト紹介，まとめと振り返り。

4.連携の成果

宇宙工学（宇宙工学部門）×教育・技術教育ノウハウ（技術と社会部門）の連携により，宇宙工学をテーマとした子どもたちへの工学教育活動を充実させることができた。分野連携としての本企画の実施は今年度で3回目を迎え，子供向けの工学教育に興味を持つ両部門の参加委員数は毎年増えている。企画へ参加する委員が増えたことで，参加者40人規模の教室の運営もスムーズに行うことが可能となった。今年度は年次大会における市民フォーラムとしての実施に加え，関東地区一都六県を順番に回るキャラバン型のモデルロケット教室第1回目（会場：千葉工業大学新習志野キャンパス）を実施している。両部門の連携は，子どもたちが楽しく，充実した学びを得ることに貢献したと考えている。

2.企画部門

宇宙工学部門，技術と社会部門

5.今後の課題（苦勞した点，課題点，他の企画へのアドバイス等）

【課題点】

・本企画の社会的意義を明確にするため，分野連携の将来的なビジョンを共有し，期待する教育効果を検討するとともに，教育効果を評価するための方法（アンケート等）を具体的に決定する必要がある。

【他の企画へのアドバイス等】

・本企画の関東地区開催分は「子どもゆめ基金」の助成を受けている。企画の趣旨と一致した助成金へ応募・助成を受けることで，参加者にとってさらに充実した内容で企画を運営することができる。

・分野連携のWGメンバーだけでなく，両部門の運営委員会・総務委員会に企画の進捗状況を逐次情報共有することで，「担当者間の認識」だけでなく「部門間の認識」を一致させることができ，企画の成功につなげることができる。